Ⅰ　アンケート調査の概要

１　調査の目的

このアンケート調査は、平成２４年度「しあわせ倍増プラン２００９」市民評価報告会における参加者の属性、意見・感想等を調査・分析し、その傾向などを把握することを目的に実施した。

２　調査の内容

（１）しあわせ倍増プラン２００９について
（２）市民評価委員会について（活動・事業評価・報告書）
（３）市民評価報告会について（内容）
（４）今後、市が取り組む必要がある分野
（５）参加者の属性

３　調査の方法

（１）調査対象　　市民評価報告会の参加者（１２３名）
（２）標 本 数　　１０１名
（３）調査方法　　参加者へのアンケート配布・出口回収
（４）調 査 日　　平成２４年９月２２日（土）

４　回収結果

参加者	標本数	回収率
１２３名	１０１名	約８２．１％

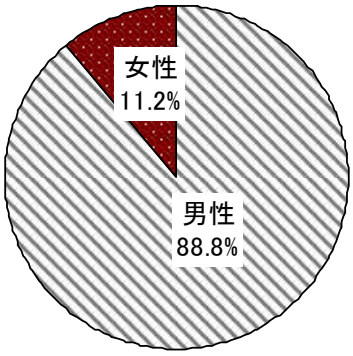
５　集計と分析にあたって

（１）図表中の「ｎ」とは、該当質問における回答者総数を示している。
（２）集計にあたっては、小数点以下第２位を四捨五入している。このため、数値の合計が100％にならない場合がある。
（３）回答の比率は（％）は、「ｎ」を基準として算出した。

Ⅱ　回答者の属性

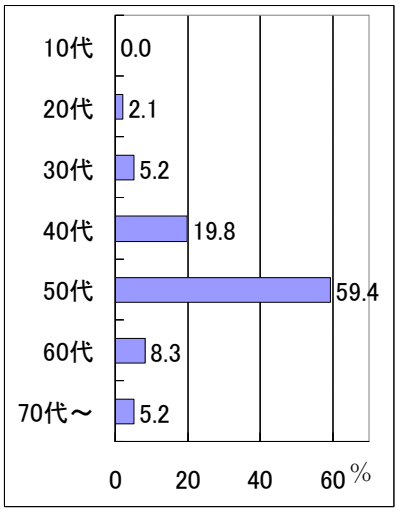
（１）性別

	基数	構成比
男性	87	88.8%
女性	11	11.2%
無回答	3	
合　計（n＝98）	101	100.0%



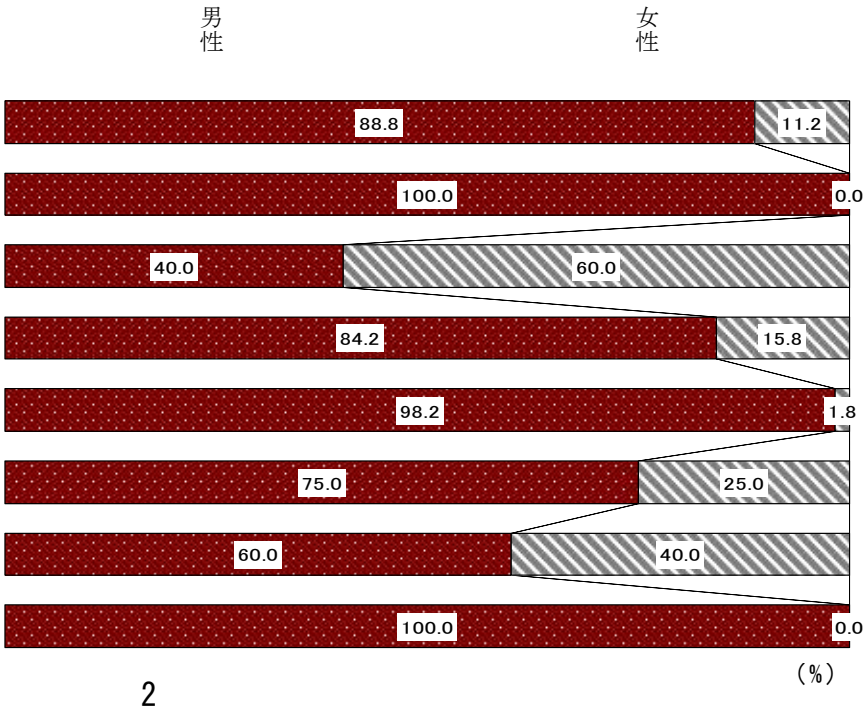
（２）年齢

	基数	構成比
１０代	0	0.0%
２０代	2	2.1%
３０代	5	5.2%
４０代	19	19.8%
５０代	57	59.4%
６０代	8	8.3%
７０代以上	5	5.2%
無回答	5	
合　計（n＝96）	101	100.0%



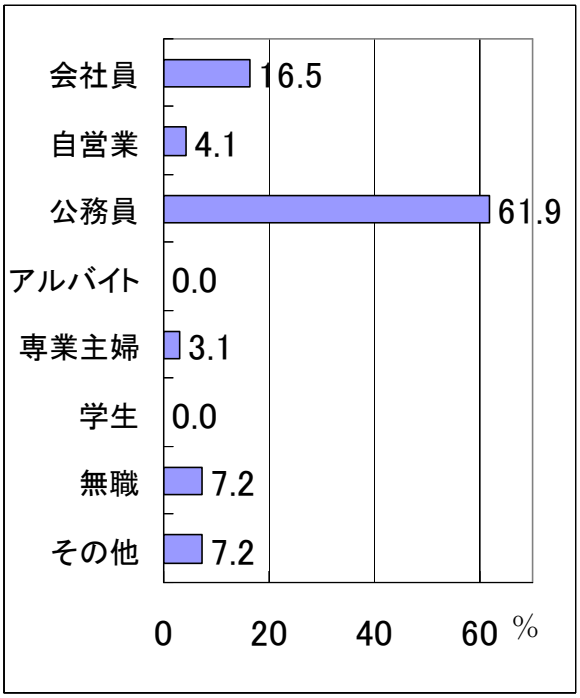
【年齢別　性別】

	男性	女性	合計
全体	87	11	98
20代	2	0	2
30代	2	3	5
40代	16	3	19
50代	56	1	57
60代	6	2	8
70代以上	3	2	5
不明	2	0	2



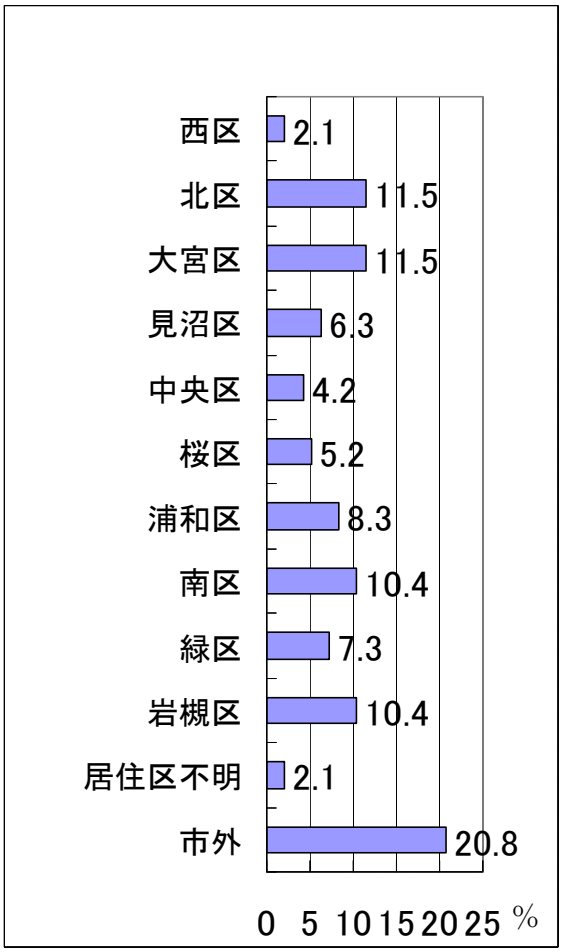
（３）職業

	基数	構成比
会社員	16	16.5%
自営業	4	4.1%
公務員	60	61.9%
アルバイト	0	0.0%
専業主婦（夫）	3	3.1%
学　生	0	0.0%
無　職	7	7.2%
その他	7	7.2%
無回答	4	
合　計（n＝97）	101	100.0%



（４）居住区

	基数	構成比
西区	2	2.1%
北区	11	11.5%
大宮区	11	11.5%
見沼区	6	6.3%
中央区	4	4.2%
桜区	5	5.2%
浦和区	8	8.3%
南区	10	10.4%
緑区	7	7.3%
岩槻区	10	10.4%
居住区不明	2	2.1%
市外	20	20.8%
無回答	5	
合　計（n＝96）	101	100.1%



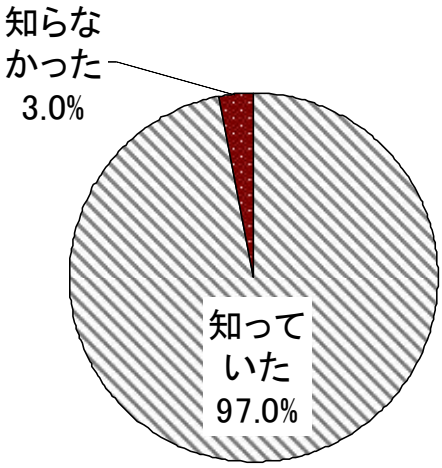
Ⅲ　調査結果の概要

（１）「しあわせ倍増プラン２００９」の認知度

■設問１　「しあわせ倍増プラン２００９を知っていましたか？」

しあわせ倍増プランを知っていた人は、回答のあった100名のうち、97.0%を占めている。

	基数	構成比
知っていた	98	97.0%
知らなかった	3	3.0%
無回答	0	
合　計（n＝101）	101	100.0%

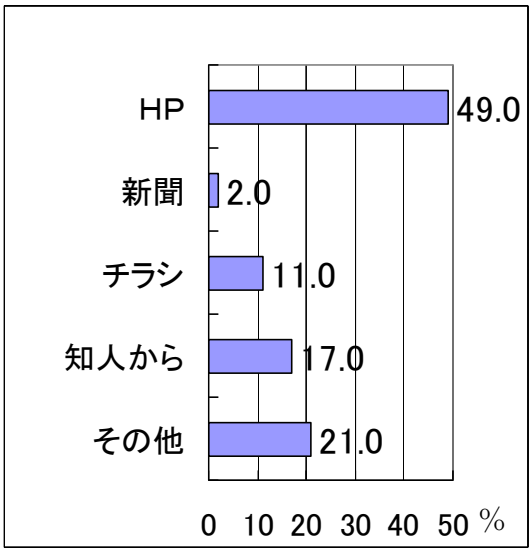


（２）「市民評価委員会」の認知手段

■設問２　「市民評価委員会の活動を何で知りましたか？」

「市のホームページ」で知った人が、全体の49.0%を占め、2位が「知人から」の17.0%となっている。

	基数	構成比
さいたま市ホームページ	49	49.0%
新聞	2	2.0%
チラシ	11	11.0%
知人から	17	17.0%
その他	21	21.0%
無回答	1	
合　計（n＝100）	101	100.0%

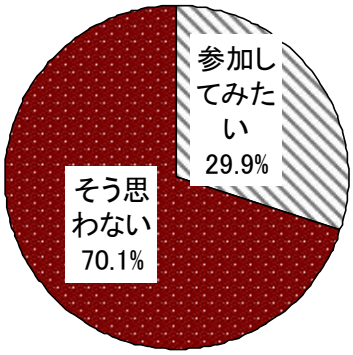


（３）「市民評価委員会」への参加意向

■設問３　「市民評価委員会に参加したいと思いますか？」

回答のあった87名のうち、約30%の26名が参加したいという回答であった。

	基数	構成比
参加してみたい	26	29.9%
そう思わない	61	70.1%
無回答	14	
合　計（n＝87）	101	100.0%

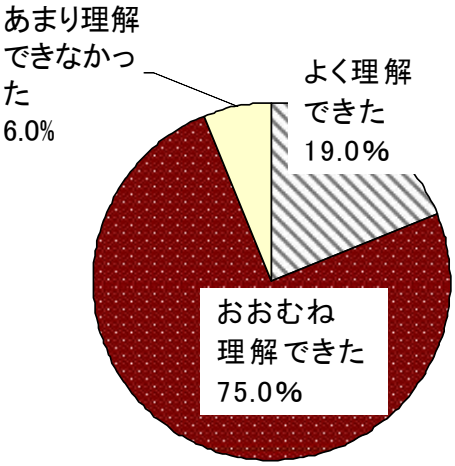


（４）「事業評価・報告」の理解度

■設問４　「事業評価や報告の内容はわかりましたか？」

「よく理解できた」が19.0%、「おおむね理解できた」が75.0%、合計で94.0%の参加者が理解できたという回答であった。

	基数	構成比
よく理解できた	19	19.0%
おおむね理解できた	75	75.0%
あまり理解できなかった	6	6.0%
まったく理解できなかった	0	0.0%
無回答	1	
合　計（n＝100）	101	100.0%

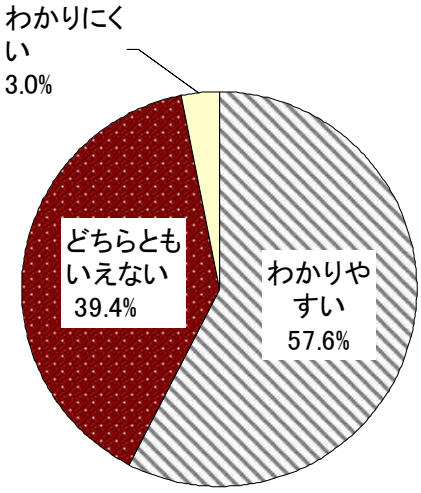


（５）「市民評価報告書」のわかり易さ

■設問５　「報告書の内容はいかがでしたか？」

「わかりやすい」が57.6%。「どちらともいえない」が39.4%という回答であった。

	基数	構成比
わかりやすい	57	57.6%
どちらともいえない	39	39.4%
わかりにくい	3	3.0%
無回答	2	
合　計（n＝99）	101	100.0%

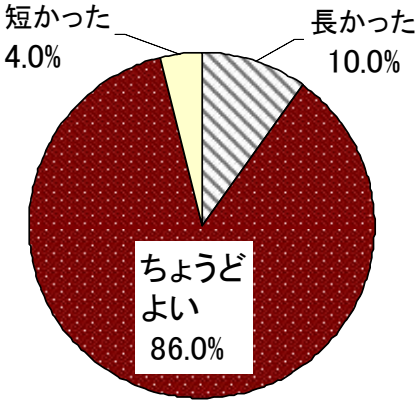


（６）「市民評価報告会」の時間配分

■設問６　「市民評価報告会の時間配分はいかがでしたか？」

「ちょうどよい」が86.0%という回答であった。

	基数	構成比
長かった	10	10.0%
ちょうどよい	86	86.0%
短かった	4	4.0%
無回答	1	
合　計（n＝100）	101	100.0%

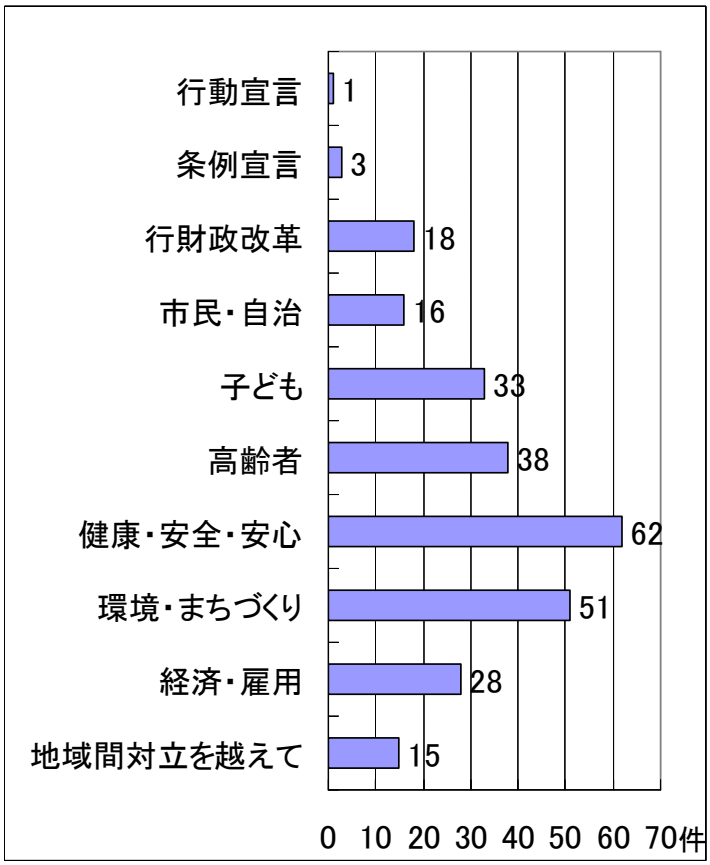


（７）「重点的に取り組むべき分野」

■設問７　「今後、さいたま市が重点的に取り組む必要があると思った分野はどれですか？（複数回答含）」

「健康・安全・安心」、「環境・まちづくり」、「高齢者」、「子ども」の分野の順で多く、一方で、「行動宣言」、「条例宣言」の分野では少ないという回答であった。

	基数
行動宣言	1
条例宣言	3
行財政改革	18
市民・自治	16
子ども	33
高齢者	38
健康・安全・安心	62
環境・まちづくり	51
経済・雇用	28
地域間対立を越えて	15
合　計	265



Ⅳ　記述式回答及び自由意見

（１）「今後、さいたま市が重点的に取り組むべき事業」

■設問１　「今後、さいたま市が重点的に取り組む必要があると思う事業がありましたらお書きください。」

さいたま市が重点的に取り組む必要があると思う事業を記述式回答として聞いたところ、３２件の回答があった。なお、１人で複数の内容を回答している場合には、各項目に分けてカウントしている。

分　　野	件数
１．行財政改革	３
【意見】	
・広報の充実に関する指摘がなされており、必要性を痛感した。	
・公共施設の統廃合、見直しを行っているのであれば、区割りのあり方について議論し、再編する必要があるので、その事業に取り組むべき。	
・政策をもっと市民に伝達していくことで、課題を市民と共有する。市民参加を促進するよう施策をとってほしい。	
４．高齢者	３
【意見】	
・「高齢者の居場所づくり」を推進する。	
・高齢化が進んでいるので、高齢者同士が気軽に話し合えるような機会、場所を増やしてほしい。話す機会が少ないお年寄りはどんどん、痴呆が早まっているような気がする。	
・今後多くなる高齢者対策。	
５．健康・安全・安心	１
【意見】	
・防災。（市民を巻き込んだ市民防災支援システム）	
６．環境・まちづくり	５
【意見】	
・まちづくりの推進。	
・まちづくり、インフラがまだまだ十分ではないと思う。	
・教育、福祉、環境のまちづくり。	
・道路整備、特に幅が狭い道路に対する交通事故防止。	
７．経済・雇用	３
【意見】	
・さいたま市にいかに多くの観光客を呼び込み、経済活性を促進する（ホテル、コンベンション施設、カジノ誘致）	

・経済、雇用分野でさいたま市は弱いと思います。もっと特色のある事業を行って、さいたま市を魅力あるまちにしたいと思います。	
・経済、雇用支援制度を重点的に取り組んでいただきたいです。	
８．地域間対立を越えて	**４**
【意見】	
・大宮駅東口再開発事業。	
・地下鉄７号線延伸事業。	
・地下鉄７号線の誘致。	
・市役所本庁の移転、再整備。	
９．その他	**１４**
【意見】	
・積極的に情報の発信を今まで以上に行い、我々市民を活用した事業を増やすべきではないか。	
・どんな事業にも市民目線で取り組んでもらいたい。	
・市民一人一人がさいたま市全体を見ていく意識。	
・地域コミュニティをしっかり確立し、市民の絆を強化すること。	
・さいたま市の魅力を育てていくこと。（いろいろな側面があると思います。）	
・高齢者中心のコミュニケーションから若い世代への引継ぎ。	
・次世代の育成。	
・個人所得の増加→個人消費増。	
・ジェンダー統計をもとにジェンダー予算枠を設けてください。 →男女共同参画日本一へ	
・もっと項目を絞っていくべきだと思います。	
・難易度の高いものをどうやって取り組んでいくかを真剣に考えていく時期にきていると思います。	
・事業が多すぎるような意見もありましたので、事業の削減や統合ということを取り組んでもらいたい。	
・頭でっかちでない行政→手足を大切に。（プランとか「○○日本一を目指す」といった看板ばかり目立つのはおかしい。市民に接する仕事を一番大切にしてほしい）	
・地域ごとに市の職員を担当させてはどうか。	

（２）「その他、ご意見・ご感想等」

■設問２　「その他、ご意見・ご感想等がございましたら、ご自由にお書きください。」

自由意見等については、２８件の回答があった。なお、１人で複数の内容を回答している場合には、各項目に分けてカウントしている。

意見は以下のとおりである。

※備考：回答者の属性【①性別・②年代・③住所（居住区）・④職業】

区　　分	件数
１．評価委員会（または報告会）の感想	１６
○これ程多くの時間をかけて、市民の方が市政を評価してくださっていることにまずもって感謝をいたします。ぜひ今回の報告を少しでも市民の意向に近づけられるようにお願いいたします。 ○またこういった会を準備してくださった市の職員の皆様に感謝をいたします。 【男性・40代・南区・その他】	
○市民評価委員の皆さんがとても熱心に真摯な態度で取り組んでいる姿が見られました。各委員からの発表のコメントが大変すばらしかったと思います。 ○単にプランの評価にとどまらず、市民の立場からよりさいたま市をよいまちにしたいという熱い気持ちが感じられました。普段の仕事をこなしながら、複数回の委員会に参加を委員の皆さんには市民の代表としての大役を果たしていただいてとても感謝しています。 ○我々市民としてもこのような取組はもっともっと多くの市民が知ってほしいと思います。 ○しあわせ倍増プランの事業の中で一番成果が大きかったのは、この評価委員会及び報告会自体の取組ではないかと思います。　【男性・40代・中央区・公務員】	
○各委員の皆さまが熱心にまじめに評価に取り組み、市政全般における問題点、課題等を積極的に関与していこうという市政に感銘を受けました。 【男性・40 代・南区・自営業】	
○ファイリングシステムや支出負担行為など、内部の専門的な情報を知っている方がいて、とても驚いた。どのようにしてそのような情報を仕入れているか聞きたい。 【男性・30 代・市外】	
○報告会参加者には市民評価報告書をあらかじめ配ってあれば、もう少し報告会の内容・意義も理解できたと思う。　【男性・60 代・南区・無職】	
○評価委員会のすべきことではありませんが、事業目標を達成した後も対象の市民の声に耳を傾け、継続・改善・廃止の検討をしてください。 【女性・30 代・中央区・専業主婦】	
○市民の目線ということが大きな声であったので、広報及びこの報告会が中間でも何か所で質問や聞ける回数が多くあればよい。事業仕分のように。 【男性・60 代・岩槻区・無職】	

○市の事業について市民の理解を得るための努力は必要であると思いますが、ニートについても相当な労力が必要であろうと感じます。今回、各委員、特に公募委員には理解がかなり深まり課題等も共有できたと思うが、これだけの時間と労力等をかけても人数的にはわずかである。また好意的な市民ばかりでないことも事実であろう。評価に当たって、もっと重要度等によって絞り込みをすることは賛成です。このために事務量が増えると本来的業務への影響も心配です。
【男性・50代・北区・公務員】

○委員の皆さま大変お疲れさまでした。これからのさいたま市を更に発展させるために大きな役割を担ったと思います。【男性・40代・中央区・公務員】

○委員の皆様大変ご苦労さまでした。今後も活動お願いします。
【男性・50代・市外・公務員】

○評価報告会の開催日程について考慮、再検討をお願いします。（祝日は除く）
【男性・50代・北区・公務員】

○委員の皆さまが事業を一生懸命理解して評価していることを評価の発表を聞いてわかった。【男性・40代・中央区・公務員】

○市民評価報告会に参加している委員は見識が高く、市民としての意識、義務についても果たすべく役割を認識していると感じました。【男性・50代・大宮区・公務員】

○初めて参加したが、女性や青年層の参加が少なくて驚きました。
【女性・40代・岩槻区・会社員】

○市民の参加が若干少なかったように感じた。【男性・50代・岩槻区・自営業】

○まわりを見回すとどうもさいたま市民というよりも、市の職員ではないかと思われる人が多い。何の誰のための報告会なのか。【男性・50代・市外・その他】

２．評価報告会（報告内容・報告書）の感想	４

○各委員の所感が参考になりました。【男性・50代・市内・自営業】

○４年間の計画期間、トータルの評価を何らかの形でアウトプットしてもらいたい。
【男性・40代・中央区・公務員】

○委員一人一人の感想・評価発表の時間が長い。報告書に記載されているので不要ではないか。それよりも委員会としてまとめた報告（評価）について詳しく発表したほうが良いと思う。【男性・50代・公務員】

○各一つ一つの事業についての評価（事業そのものの評価）又は市民の声、意見が聴けたら更によかった。【男性・50代・北区・公務員】

３．その他（事業内容、市政全般）	４

○情報発信の電子化が必要だと思います。（ツイッター、フェイスブックなどの活用）
【男性・50代・市内・自営業】

○さいたま市は人口が増える中で、公共施設が少ないため施設の見直し、住民一人一人の連絡体制の強化をしてください。【男性・60代・見沼区・無職】

○評価手法の確立と市の職員への周知徹底が必要である。評価の仕方が変わったことはマイナスである。声が大きいところに誘導されるのではなく客観的な指標に基づき評価すべきだ。そうでなければ時間の浪費である。【男性・40代・中央区・公務員】

○情報公開日本一の発展形態として、文書偽造ができない仕組みをもつ文書管理条例を制定し、文書管理日本一を目指してください。【男性・40代・中央区・公務員】

アンケート様式（表面）

市民評価報告会アンケート

本日は、しあわせ倍増プラン２００９市民評価報告会にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。今後の参考にさせていただきますので、お手数ですが、以下のアンケートにつきまして、ご協力をいただければ幸いです。

※　該当するところに○をつけて下さい

◎　しあわせ倍増プラン２００９を知っていましたか？

知っていた ／ 知らなかった

◎　市民評価委員会の活動を何で知りましたか？

さいたま市ホームページ ／ 新聞 ／ チラシ ／ 知人から ／ その他（　　）

◎　市民評価委員会に参加したいと思いますか？

参加してみたい ／ そう思わない

◎　事業評価や報告の内容はわかりましたか？

よく理解できた ／ おおむね理解できた ／ あまり理解できなかった ／

まったく理解できなかった

◎　報告書の内容はいかがでしたか？

わかりやすい ／ どちらともいえない ／ わかりにくい

◎　市民評価報告会の時間配分はいかがでしたか？

長かった ／ ちょうどよい ／ 短かった

◎　次のうち、今後、さいたま市が重点的に取り組む必要があると思った分野はどれですか？（複数回答可）

行動宣言 ／ 条例宣言 ／ 行財政改革 ／ 市民･自治 ／ 子ども ／ 高齢者

健康･安全･安心 ／ 環境･まちづくり ／ 経済･雇用 ／ 地域間対立を越えて

＜裏面もご記入をお願いいたします＞

アンケート様式（裏面）

※今後、さいたま市が重点的に取り組む必要があると思う事業がありましたらお書きください。

※その他、ご意見・ご感想等がございましたら、ご自由にお書きください。

◎　アンケートにご記入いただいた方

・性　　別　　男性 ／ 女性

・年　　齢　　10 代 ／ 20 代 ／ 30 代 ／ 40 代 ／ 50 代 ／ 60 代 ／ 70 代～

・お住まい　　市内（　　区） ／ 市外

・ご 職 業　　会社員 ／ 自営業 ／ 公務員 ／ アルバイト ／ 専業主婦（夫）

学生 ／ 無職 ／ その他（　　）

＜ご協力ありがとうございました＞